



注目ポイント

- ✓先週、日銀の金融政策決定会合では、大方の予想通り政策金利の据え置きが決定されたが、想定外だったのは「展望レポート」による物価見通しの下方修正。これを受けて、日銀の早期追加利上げ観測は大幅に後退し、国内金利は低下し、為替市場では円安ドル高が進展した。また国内株式市場では、「円安&金利低下」が追い風となり、日経平均は3万7千円手前（3月末以来）まで上昇した。
- ✓今週、ドル円は米国の予想以上の貿易赤字（3月）等を背景に、円高気味にスタートしているが、日銀の追加利上げ観測の後退による円売り圧力もあるため、方向感に欠ける展開となろう。また国内金利も関税交渉の進展次第では上昇圧力がかかるも、日銀の早期利上げ観測の後退から上昇しにくく、やはりもみ合いの展開が予想される。一方で、日本株は企業決算を見極めながら戻りを試す展開となろう。（門倉英司）

2025年4月28日 ~ 2025年5月6日

市場・指標			4月28日 ~ 5月6日		5月6日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	日本	日経平均 (円)	36,977	35,773	36,831	+1,125	+3.2%	
	米国	NYダウ (ドル)	41,446	39,746	40,829	+716	+1.8%	
	ドイツ	DAX (ポイント)	23,390	22,236	23,250	+1,007	+4.5%	

市場・指標			4月28日 ~ 5月6日		5月6日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	日本	10年 (%)	1.335	1.260	1.265	-0.070	
	米国	10年 (%)	4.37	4.12	4.29	+0.06	
	ドイツ	10年 (%)	2.56	2.44	2.54	+0.07	

市場・指標			4月28日 ~ 5月6日		5月6日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	米ドル (円)		145.92	141.97	142.41	-1.26	
	ユーロ (円)		164.63	161.60	161.93	-1.37	
	豪ドル (円)		93.59	90.59	92.44	+0.53	

市場・指標			4月28日 ~ 5月6日		5月6日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	日本	東証リート (ポイント)	1,754	1,697	1,750	+47	+2.8%	
	米国	NY原油 (ドル)	63.92	55.30	58.96	-4.1	-6.4%	
		NY金 (ドル)	3,434	3,209	3,434	+135	+4.1%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年5月7日 ~ 2025年5月9日

株式

戻りを試す展開

日経平均
【予想レンジ】 36,500 円 ~ 37,500 円

- 先週の日経平均は、7営業日続伸し、3月末以来の高値圏まで回復。好調な米株や円安進行、日銀の追加利上げ見送り等が投資家心理を支えた。主要企業の決算発表や大型の自社株買いも買い材料となり、輸出関連や半導体関連を中心に上昇。米中・日米の関税交渉に対する過度な警戒も後退し、相場は堅調に推移した。
- 今週の日経平均は、戻りを試す展開か。米国では3年ぶりにGDP(1-3月)速報値がマイナス成長に落ち込んだが、FRBの利下げ期待を背景に、市場は楽観的なムードが強く米株は比較的堅調な展開。また、日米間の協議では具体的な円安是正の要求がないことに加え、日銀の利上げの後ずれの見方からリスクオフの巻き戻しの流れから円安ドル高に向かいやすい。日経平均は戻りを試す展開となろう。

金利
(国債)

もみ合いか

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.210 % ~ 1.310 %

- 先週の国内金利は大幅に低下。週初から米金利低下を受けて国内債にも買いが入り、週後半には日銀が金融政策を据え置いたことや、「展望レポート」で物価見通しを下方修正したことで、追加利上げ観測が後退。これが中長期ゾーンを中心とした金利低下圧力となった。
- 今週の国内金利は、もみ合いか。日銀は利上げを継続する姿勢を維持したものの、物価見通しが引き下げられたことから、早期の追加利上げ観測が大幅に後退した。よって長期金利は、上昇しにくい状況と考えられる。とはいえ、関税交渉に進展が見られると、長期金利に上昇圧力がかかる可能性もあり注意が必要だろう。今週は、10年国債入札(8日)で需給を確認したい。

為替
(米ドル)

もみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 141.80 円 ~ 145.00 円

- 先週のドル円相場は、円高ドル安が進展。米中関税交渉の進展期待に加え日銀の追加利上げ見送りや、米雇用統計の強い結果がFRBの利下げを躊躇させるとの見方を背景に円売りドル買いが進み、週末には一時1ドル=145円台を回復。ただし、今週に入り米国の予想以上の貿易赤字(3月)等を背景に、142円台に突入する円高の展開でスタートしている。
- 今週のドル円は、日銀の早期の追加利上げ観測が大幅に後退したことが円売り材料となる一方で、関税交渉の不透明感がドル売り材料となり、方向感が掴みにくい状況。先月の行き過ぎたリスクオフの巻き戻しで、ドル買い戻しの流れも起きているものの、今週のドル円はもみ合いの展開となろう。

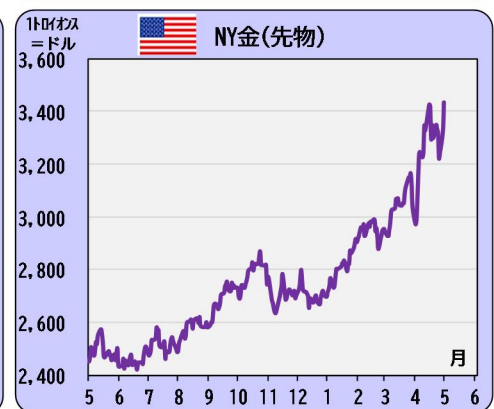
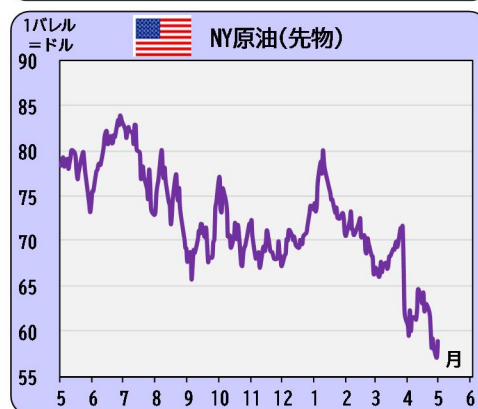
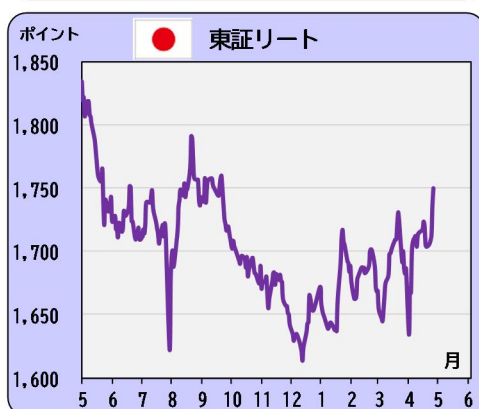
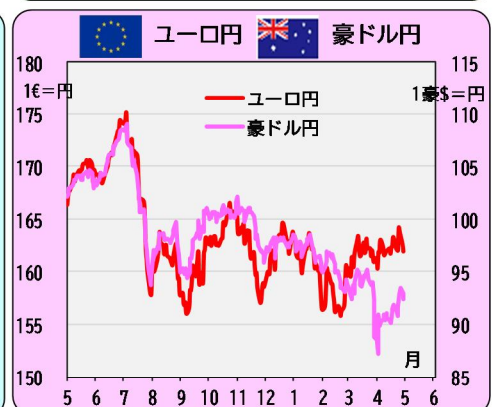
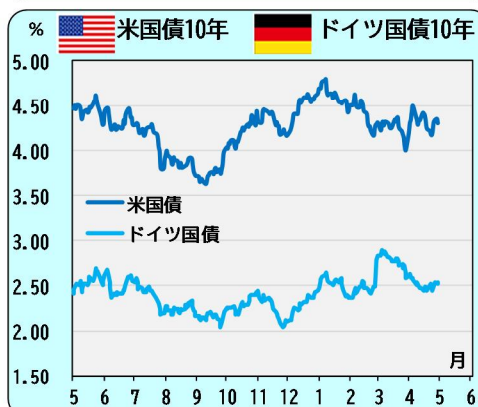
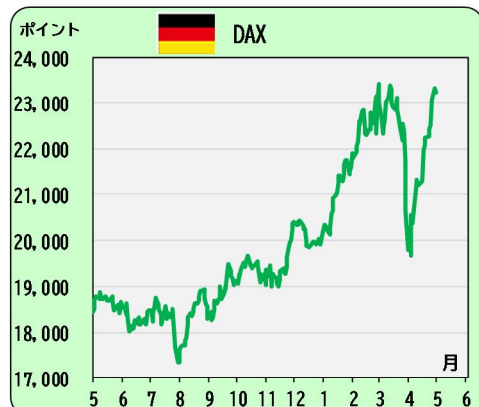
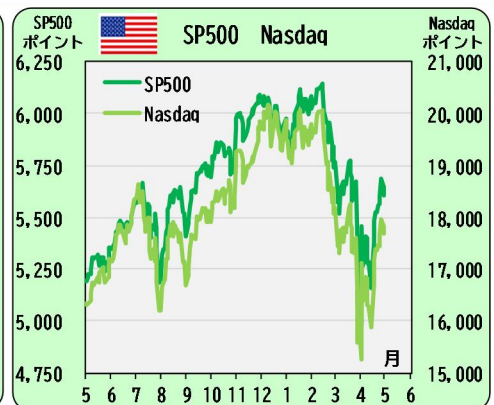
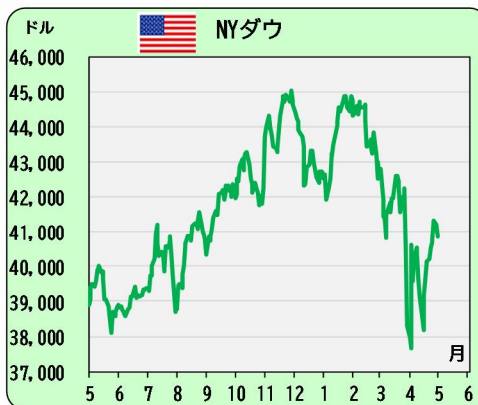
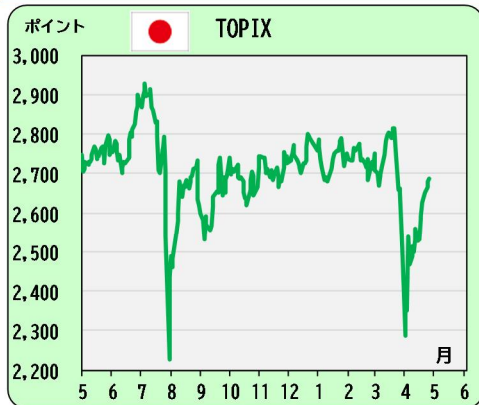


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
5/5(月)	祝日(こどもの日)	米国: 国債入札(3年) 米国: ISM非製造業景況指数(4月)
5/6(火)	祝日(振替休日)	米国: 国債入札(10年) 米国: FOMC(~7日)
5/7(水)		米国: 消費者信用残高(3月)
5/8(木)	日銀金融政策決定会合議事要旨(3月開催分) 国債入札(10年)	米国: 国債入札(30年)
5/9(金)	家計調査(3月) 毎月勤労統計(3月) 景気動向指数(3月)	

③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。